

# 一般入試前期B日程

## 世界史

I (配点 36)

次の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、前3000年頃から都市文明が形成された。民族系統不明のシュメール人はウル・ウルクなどの都市国家を形成し、ア) シュメール文化が栄えた。前24世紀になると、シュメール人の都市国家はアッカド人によって征服されたが、その後独立を回復した。前19世紀になると、アムル人によってバビロン第1王朝が建てられた。第6代のハンムラビ王は全メソポタミアを支配し、イ) ハンムラビ法典を制定した。ウ) バビロン第1王朝滅亡後、メソポタミアにはさまざまな勢力が興亡したが、前7世紀前半にアッシリア王国によって初めて全オリエントが統一された。アッシリア王国は住民の強制移住や重税などによって服属民の反発を招き、前612年に崩壊した。その後、オリエント世界にはエ) 4王国が分立したが、前6世紀半ばにイラン人(ペルシア人)が建てたオ) アケメネス朝によって再統一された。アケメネス朝は、前5世紀前半のカ) ペルシア戦争でギリシアの諸ポリスに敗れ、前4世紀後半にはアレクサンドロス大王の東方遠征によって滅ぼされた。その後のキ) ヘレニズム時代には、ギリシア系のセレウコス朝シリアが西アジアを支配したが、前3世紀半ばにはク) パルティアがセレウコス朝から独立し、メソポタミアを支配する強国となった。パルティアはローマとの抗争によって衰退し、3世紀にはイラン人のササン朝によって滅ぼされた。ササン朝はローマやケ) ビザンツ帝国と抗争しながらも繁栄を続けたが、7世紀にイスラーム勢力に敗れて滅亡した。

(1) 下線部ア)に関連して、シュメール人の文化に関する記述として最も適切なものを、次の

①～④の中から1つ選べ。

- ① キープ(結縄)によって情報を伝達した。
- ② 十進法を用いた。
- ③ 賛歌集であるヴェーダをまとめた。
- ④ ジググラト(聖塔)で都市の神をまつた。

(2) 下線部イ)に関連して、ハンムラビ法典に関する記述a・bの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

- a 「目には目を、歯には歯を」の復讐法を特徴とする。
- b 身分社会であったが、身分による刑罰の差はなかった。

- ① a - 正    b - 正                      ② a - 正    b - 誤
- ③ a - 誤    b - 正                      ④ a - 誤    b - 誤



- (6) 下線部**カ**に関連して、次の文中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **6**

ペルシア戦争は、**ア** を中心とするイオニア地方のギリシア人植民市の反乱をきっかけとして始まった。ペルシアは前490年の **イ** などに敗れ、最終的にギリシア側が勝利した。

- ① **ア**－ミレトス      **イ**－アルベラの戦い
- ② **ア**－ミレトス      **イ**－マラトンの戦い
- ③ **ア**－スサ            **イ**－アルベラの戦い
- ④ **ア**－スサ            **イ**－マラトンの戦い

- (7) 下線部**キ**に関連して、ヘレニズム文化に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **7**

- ① ポリスの枠にとられない世界市民主義（コスモポリタニズム）の思想が生まれた。
- ② 禁欲を重視するセネカによってストア派が創始された。
- ③ アリスタルコスが太陽中心説をとらえた。
- ④ 「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン」などの彫刻がつけられた。

- (8) 下線部**ク**に関連して、次の文中の空欄 **ウ** ・ **エ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **8**

遊牧イラン人の族長 **ウ** によって建てられたパルティアは、ティグリス川中流東岸の **エ** に都をおいた。

- ① **ウ**－アッシュルバニパル      **エ**－クテシフォン
- ② **ウ**－アッシュルバニパル      **エ**－ニネヴェ
- ③ **ウ**－アルサケス                **エ**－クテシフォン
- ④ **ウ**－アルサケス                **エ**－ニネヴェ

(9) 下線部ケ)に関連して、ビザンツ帝国の歴史に関する次の a～c の出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 9

- a 聖像禁止令を発布した。
- b 『ローマ法大全』が編纂<sup>さん</sup>された。
- c 公用語がラテン語からギリシア語になった。

- ① a → b → c      ② a → c → b      ③ b → a → c  
④ b → c → a      ⑤ c → a → b      ⑥ c → b → a

Ⅱ (配点 48)

次の文を読み、(1)～(7)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

16世紀のイスラーム世界では、ア) オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国の3つの大國が鼎立していた。

13世紀末頃にアナトリアに成立したオスマン帝国は、14世紀にバルカン半島に進出し、15世紀半ばにはビザンツ帝国を滅ぼした。1512年に即位した  は1517年にマムルーク朝を滅ぼし、メッカとメディナの保護権を得た。オスマン帝国は、1520年に即位したスレイマン1世のもとで最盛期をむかえ、1529年にはウィーンを包囲してヨーロッパ諸国を脅かした。その後、オスマン帝国は1571年の  の海戦でスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊に敗れたものの、東地中海の制海権は確保した。しかし、17世紀後半からオスマン帝国の勢力は衰え、イ) 19世紀以降は領内の独立運動や欧米諸国の干渉に苦しんだ。

イランでは、1501年に神秘主義教団の教主によってサファヴィー朝が建てられた。サファヴィー朝は、シーア派の  派を国教とし、イランの伝統的な王の称号である  の称号を用いてイラン人の民族意識の高揚につとめた。サファヴィー朝は、1587年に即位したウ) アッバース1世のもとで最盛期をむかえ、オスマン帝国に奪われていた領土の一部を奪回した。アッバース1世がエ) 新たに造営した都は華麗な建造物や庭園で彩られ、国際商業都市として繁栄した。アッバース1世の死後、サファヴィー朝の勢力は衰え、オスマン帝国にイラクを奪われた。

インドでは、バーブルが1526年のパーニーパットの戦いで  朝を倒し、ムガル帝国を樹立した。ムガル帝国は、 への遷都を行った第3代皇帝のアクバルの時代から第6代皇帝のアウラングゼーブの時代にかけて最盛期となった。ムガル帝国時代にイスラーム教はインド全域に広がり、オ) インド=イスラーム文化が発達した。アウラングゼーブの死後、カ) 地方勢力の台頭やヨーロッパ勢力の進出によってムガル帝国は衰退した。

(1)  ～  に当てはまる適切な語句を、**解答群1**からそれぞれ1つ選べ。

**解答群1**

① ロディー	② プレヴェザ	③ イスマーイール	④ セリム1世
⑤ メフメト2世	⑥ 十二イマーム	⑦ シャー	⑧ デリー
⑨ レパント	⑩ ハルジー	⑪ ウラマー	⑫ アグラ

(2) 下線部ア)に関連して、オスマン帝国に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 16

- ① 騎士は、カピチュレーションとよばれる土地の徴税権を保持した。
- ② オスマン帝国の歩兵常備軍はイエニチェリとよばれた。
- ③ 官僚制度としてマンサブダール制が採用された。
- ④ ユダヤ教やキリスト教徒は宗教ごとにミスルとよばれる宗教共同体をつくった。

(3) 下線部イ)に関連して、19世紀以降のオスマン帝国の歴史に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 17

- a ミドハト憲法が制定された。
- b 青年トルコ革命が起こった。
- c ギリシアがオスマン帝国から独立した。

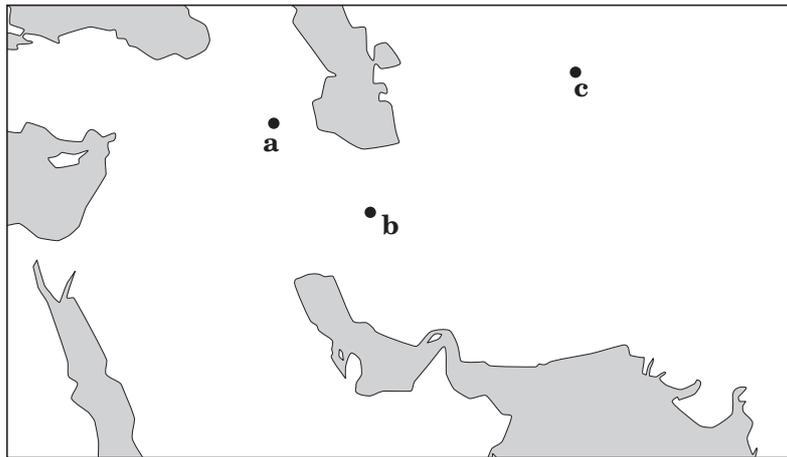
- ① a → b → c      ② a → c → b      ③ b → a → c
- ④ b → c → a      ⑤ c → a → b      ⑥ c → b → a

(4) 下線部ウ)に関連して、アッバース1世に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 18

- ① アンカラ（アンゴラ）の戦いでオスマン帝国を破った。
- ② ティムール朝を滅ぼした。
- ③ イギリス人からホルムズ島を奪った。
- ④ 都にイマームのモスクを建てた。

- (5) 下線部**エ**)に関連して、サファヴィー朝の都に関する次の文中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる地図中の都市の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **19**

サファヴィー朝の草創期には、 **ア** に都がおかれたが、アッバース1世の時代になると **イ** に遷都された。



- ① **ア** - a    **イ** - b                      ② **ア** - a    **イ** - c  
 ③ **ア** - b    **イ** - c                      ④ **ア** - c    **イ** - a

- (6) 下線部**オ**)に関連して、ムガル帝国時代の文化に関する a ・ b の記述の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **20**

- a インドの地方語にペルシア語を取り入れたウルドゥー語が成立した。  
 b アジャンター石窟寺院が造営され、壁にはムガル絵画が描かれた。

- ① a - 正    b - 正                      ② a - 正    b - 誤  
 ③ a - 誤    b - 正                      ④ a - 誤    b - 誤

- (7) 下線部**カ**)に関連して、地方勢力の台頭やヨーロッパ勢力の進出に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **21**

- ① デカン高原には、マラーター王国が建てられた。  
 ② 南インドには、マイソール王国が建てられた。  
 ③ カーナティック戦争で、フランスはイギリスに勝利した。  
 ④ プラッシーの戦い後、イギリスはベンガル・ビハールの徴税権を獲得した。

Ⅲ (配点 36)

次の(A)(B)の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

(A) アブルボン朝統治下のフランスでは、1789年にフランス革命が勃発し、同年にフランス革命の理念をあらわす イ人権宣言が採択された。1791年には ウ立法議会が成立し、翌年春にはジロンド派内閣が対オーストリア宣戦を行って革命戦争が始まった。1792年には国民公会が成立し、王政の廃止と共和政の樹立が宣言された。国民公会では急進的なジャコバン派(山岳派)が勢力を拡大し、1793年1月には国王ルイ16世が処刑された。この処刑をきっかけとしてイギリスは第1回対仏大同盟の結成をよびかけ、フランス国内でも王党派と結びついた反乱が広がった。国内外の危機に対し、エロベスピエールを中心とするジャコバン派政権は恐怖政治を展開し、急進的な政策を強行した。1794年に起こったテルミドール9日のクーデタによりロベスピエールは処刑され、1795年に総裁政府が樹立された。総裁政府の政局は安定せず、軍事指導者としてナポレオン=ボナパルトが台頭した。ナポレオンは1799年のブリュメール18日のクーデタで総裁政府を倒し、フランス革命はここに終了した。

(1) 下線部ア)に関連して、ブルボン朝統治下のフランスに関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

- a ナントの王令(勅令)が發布された。
- b 七年戦争に参戦した。
- c 三十年戦争に参戦した。

- ① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c
- ④ b→c→a      ⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

(2) 下線部イ)に関連して、次の文中の空欄  ・  に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

らによって起草された人権宣言では、すべての人間の自由・平等や主権在民、私有財産の不可侵などが表明された。人権宣言には、『社会契約論』を著したフランスの啓蒙思想家である  の思想的影響がみられる。

- ① アーバブーフ      イールソー
- ② アーバブーフ      イーホップズ
- ③ アーラ=ファイエット      イールソー
- ④ アーラ=ファイエット      イーホップズ

(3) 下線部ウ)に関連して、立法議会の時期に起こった出来事に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 24

- ① 国王一家が国外逃亡を試みるヴァレンヌ逃亡事件が起こった。
- ② 8月10日事件によって王権が停止された。
- ③ パリの民衆がヴェルサイユ行進を行った。
- ④ イギリスとアミアンの和約を結んだ。

(4) 下線部エ)に関連して、恐怖政治に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 25

- ① 社会主義者の要求で国立作業場が設置された。
- ② 公安委員会が行政権を握った。
- ③ 徴兵制が導入された。
- ④ 革命暦が採用された。

(B) 1804年、ナポレオンは国民投票によって、オ) 皇帝に即位し、ナポレオン1世と称した。  
カ) ナポレオンはヨーロッパ統一を掲げて対外戦争を展開し、ヨーロッパ諸国のほとんどを支配下においた。1806年には、キ) 大陸封鎖令を発し、フランスの市場として大陸を確保しようとした。一方、こうしたフランスによる支配は、ナショナリズムが各地で芽生えるきっかけとなった。スペインでは反乱が起り、ク) プロイセンではプロイセン改革が実施された。1813年、諸国は解放戦争にたちあがり、ライプツィヒの戦い(諸国民戦争)でナポレオンを破って失脚させた。戦後処理のために、ケ) ウィーン会議が開催されたが、各国の利害の衝突のため会議は難航した。その後、ナポレオンは一時皇帝に復位したが、再び敗れた。

(5) 下線部オ)に関連して、「ナポレオンの戴冠式」を描いたフランス古典主義絵画の画家として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 26

- ① ドラクロワ      ② ゴヤ      ③ クールベ      ④ ダヴィド



- (8) 下線部ク)に関連して、次の文中の空欄 **ウ** ・ **エ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **29**

プロイセンでは、**ウ** らが行政改革や農民解放などの一連の改革を行った。また、ドイツの哲学者 **エ** は「ドイツ国民に告ぐ」という講演を行い、国民意識を高揚させた。

- ① **ウ**－ハルデンベルク      **エ**－フィヒテ
- ② **ウ**－ハルデンベルク      **エ**－マルクス
- ③ **ウ**－ベルンシュタイン    **エ**－フィヒテ
- ④ **ウ**－ベルンシュタイン    **エ**－マルクス

- (9) 下線部ケ)に関連して、ウィーン会議に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **30**

- ① オーストリア外相（のち宰相）のカニングが会議を主催した。
- ② フランス外相タレーランが主張した王権神授説が会議の基本原則となった。
- ③ 35君主国と4自由市からなる北ドイツ連邦が形成された。
- ④ ウィーン会議の結果、四国同盟が成立した。





(8) 清の咸豊帝の側室であった西太后に関する次の文中の空欄 **ウ** ・ **エ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **38**

西太后は、子である **ウ** が5歳で即位すると、その摂政となった。**ウ** の治世期は内政・外政の小康期となり、**ウ** の死後、西太后は妹の子を擁立して実権を維持した。19世紀末に政治改革が行われると、西太后ら保守派は1898年に **エ** を起こした。

- ① **ウ**－光緒帝    **エ**－甲申政変                      ② **ウ**－光緒帝    **エ**－戊戌の政変  
③ **ウ**－同治帝    **エ**－甲申政変                      ④ **ウ**－同治帝    **エ**－戊戌の政変

(9) カルティニはインドネシアの女性解放運動・民族運動の先駆者で、書簡集『闇から光へ』は、インドネシアの民族運動に影響を与えた。インドネシアの民族運動に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **39**

- ① 大衆的民族組織としてイスラーム同盟（サレカット＝イスラーム）が設立された。  
② ドンズー（東遊）運動を展開した。  
③ スハルトが、インドネシア国民党を組織した。  
④ インドネシアの完全独立をめざすタキン党が結成された。

(10) 毛沢東の夫人である江青は、「四人組」の一人としてプロレタリア文化大革命を推進した。毛沢東の死後に「四人組」は逮捕され、プロレタリア文化大革命は終結した。毛沢東が死去した時期として最も適当なものを、次の年表中の①～④の中から1つ選べ。 **40**

<b>①</b>
1959年 チベット反乱
<b>②</b>
1979年 米中国交正常化
<b>③</b>
1997年 香港返還
<b>④</b>